

江東区 青少年委員だより

No.77号

江東区青少年委員会
広報部
江東区地域振興部青少年課
地域連携係
江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

令和4・5年度 青少年委員会 本格的に活動スタート



「本格的に活動スタート」

江東区青少年委員会 会長
福山 憲治

令和4・5年度江東区青少年委員会会長に就任いたしました。全力で取組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

このコロナ禍の中、こどもたちの環境は大きく変化しました。情報端末の整備により急激に学びのスタイルが変わる一方、休校により学びの場・自分を表現できる場所やお祭りなど、地域と交流できる機会も失ってしまいました。こういった状況で、青少年委員会は行政と連携し、感染症対策を行った上でできる活動を試行錯誤してまいりました。中学生体験プログラムの「黒板アート講習会」もその一つです。また、ジュニアリーダーの育成と支援にも力を入れており、東陽公園・木場公園において「かまど・ポイントラリー講習」を行いました。そして令和3年1月に中止となった成人式も、今年は開催方法を変えて行うことができ、成長したこどもたちを見届けることができました。

私たち青少年委員会は、この2年余りの経験を糧にして、次のステップに向けて本格的に活動してまいります。青少年の成長のサポートには、地域の皆様との連携が大切だと思っていますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。



「with… ～ともに～」

江東区教育委員会 教育長
本多 健一郎

令和4年4月7日、令和4・5年度の江東区青少年委員の皆様へ委嘱状を直接お渡ししました。46名の青少年委員の皆様の存在をとても心強く感じました。新型コロナウイルス感染症対策下での活動が続いておりますが、福山会長を中心とした、青少年委員の皆様方のご尽力、そして熱い思いに心より感謝申し上げます。

感染症対策を講じながらの教育活動も3年目となりました。幼いこどもたちにとっては、マスク生活が人生の大きな比率となっています。こどもたちにとっての今は、今しかありません。「こどもたちの成長にとって大切なことは、感染症対策を講じながらも必ず行う。」全区立学校・幼稚園においては、その思いを共有し、教育活動に取り組んでまいります。青少年委員の皆様におかれましても、青少年委員会にとって大切なことを追求し、さらなる前進の2年間となることを期待しております。

「with… ～ともに～」は、「教育推進プラン・江東(第2期)」のキーワードであります。こどもたちのために「ともに」考え、「ともに」支えていただくことをお願いするとともに、青少年委員会の充実、発展、そして委員の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

4年ぶり 委員そろって

令和4・5年度 青少年委員委嘱式

令和4年4月7日(木) 江東区文化センターにおいて、新任委員8名を加え、46名が本多教育長から委嘱状をいただきました。

前期は新型コロナウイルスの影響で、活動機会が減少した2年間でしたが、今期は社会環境の変化に合わせて、対策を充実させながら最大限の活動を行おうとスタートしました。



話に聞き入る委員たち



本多教育長より委嘱状

令和4・5年度 各部長・各実行委員長・各地区長のごあいさつ

専門部会



「楽しみながら学べる研修を！」

研修部長 多田 正子

前年度に引き続き、研修部長を務めさせていただくことになりました。今期研修部は、15名の精鋭で活動してまいります。

今年度も部長を引き受けた理由は、新型コロナウイルスまん延のため、中止になった講師の方を招いての研修会、部員一丸となって企画していた宿泊研修旅行の、リベンジすることでした。また、昨年度同様に委員の見識を広げるだけではなく、「楽しみながら学べる研修会」をモットーに、実りある研修を企画、実施していく所存です。部員14名は、私にはないすばらしいスキルを持った方たちばかりです。このメンバーに支えていただきながら、一人でも多くの委員の皆様に参加していただけるよう、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



「青少年育成部 部長就任にあたって」

青少年育成部長 高取 健一

私は第六砂町小学校区選出の3期目になります。2期目に継いで、福山新会長のもと、青少年育成部長という大役を務めさせていただきます。2期目はコロナ禍のため、ほとんどの行事が中止になるなか、ジュニアリーダーの初級・中級の講習は規模を縮小しながらも行われました。目を輝かせながら講習に参加する子どもたちやスタッフのジュニアリーダーを見て、今期も部長を引き受けました。今期は多くの仲間たちの参加を得て、ジュニアリーダーや講習生との交流の機会を多く持てることを期待しています。

中学生体験プログラムや生徒会交流会をとおして多くの中学生とも交流を図りたいと考えております。今期もよろしくお願いいたします。



「委員大活躍、広報部大活躍」

広報部長 安井 寛弘

先期に引き続き、広報部長を務めます。広報部は、委員の活動を多くの方々に広く知ってもらうことが使命です。そのため、委員の皆さんの活躍があって初めて私たち広報部も活躍することができます。今期は、先期の悔しい歯がゆい気持ちを、熱い想いに変えた委員の皆さんが大活躍します。きっとします。しない理由がない。私たち広報部もその姿を多くの方々に伝えるために、大活躍する2年間にしていきたいと思います。

2年後に発行する「あゆみ」に委員の皆さんが躍動する姿を、そしてとびっきりの笑顔を満載できることを目指し、広報部は一致団結していきます。よろしくお願いいたします。

実行委員会



「都立高校紹介について」

都立高校紹介実行委員長 喜古 修

「行ける学校ではなく行きたい学校に！」を合言葉に、実行委員会主催で区内8校の都立高校（大江戸・科学技術・江東商業・城東・墨田工業・第三商業・東・深川）の生徒が、中学生や保護者に対し、各校の特色を紹介するイベントを企画・運営しています。

例年、ティアラこうとうを会場にして各校の特色などを紹介していますが、コロナ禍の現在、各校に取材にいき、江東ワイドスクエアでのテレビ放映やYouTube・青少年委員会ホームページなどでWebによる配信を行っています。本年は、8月中旬に江東ワイドスクエアにてテレビ放映、9月上旬に青少年委員会ホームページなどでWeb配信されました。

都立高校8校の特色ある映像をぜひご覧ください。



「こどものころの ワクワク感を大切に」

区民まつり実行委員長 笠井 君夫

子どもたちの歓声に囲まれて、一緒になって楽しんでお手伝いをしてきた区民まつりの実行委員長を、今期務めることになりました。

3年ぶりに開催されることになり、コロナ禍以前は毎年大盛況だった射的の運営なので、失敗できないという思いと、このブースを楽しみに来場するお客様（主に子どもたち）の思いを裏切ることにはできないという重圧を、どうやって楽しんで乗りきるか、今からワクワクしています。

今年は、この3年分のモヤモヤを晴らすべく、実行委員の皆さんと一緒に大いに盛り上げていきたいと思います！



「新成人から パワーをもらえる人気事業」

成人式実行委員長 古賀 譲治

江東区主催の成人式（1月）に運営協力しています。毎年ほぼ全委員が参加しており、新成人からパワーをもらえる人気事業でもあります。

一生に一度の成人式を最高の思い出にしてあげたい。その熱い気持ちで、厳かな式典や同級生との再会が円滑に進むよう活動します。例えば、記念写真の撮影場所は複数用意されても行列ができるほど人気です。式典の開始時間を気にしつつ、行列整理やカメラ撮影を行います。

今年度は成人式実行委員会の要職に、青少年委員1期目委員が多数就任しました。地域活動経験のある新しい力が加わることで、成人式をさらに盛り上げていきたいです。

地区会



「深川南部地区長になって」

深川南部地区長 古谷 潤

青少年委員となって2期目となり、まだわからないことばかりですが、諸先輩方に指導を仰ぎながら地区長としての役割を果たしていけたらと考えております。そのためには、わからないことは、わかったふりをせずに素直に教えていただく姿勢でいきます。恰好つけずに皆さんのアドバイスを大切に、まとめていくこと心がけます。

深川南部は14名の大所帯です。皆さんが意見を言いやすく、風通しの良い南部の雰囲気を作っていくことをモットーにしていきたいと存じます。学校と地域の橋渡し役として、深川南部の皆さんが生き生きと青少年委員としての活動が、できるように、地区長として尽力する所存です。2年間どうぞよろしくお願いいたします。



「未来に向けて」

深川北部地区長 小松原 弘文

深川北部地区長、扇橋小学校区選出の小松原です。

コロナ禍で制限ばかりの2年間を過ごすことになっていましたが、3年ぶりに三者懇談会を開催することができました。練りに練って小・中学校12校と私たち7人を合わせた資料を作成し、大好評。内容も濃くとても良い会でした。

今後も北部地区7人、こどもたちのためにさまざまな意見を出し合い、より良い活動を進めていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いします。

地区会探検

深川北部地区

深川北部地区は、3年ぶりに対面での三者懇談会を7月8日に開催しました。小学校7校、中学校5校の校長・PTA会長（代理含む）と私たち7人の資料を作成し、それを活用して大いに盛り上がり内容の濃い会となりました。

個性ある7人で活動



「亀戸に風は吹くか」

亀戸地区長 高橋 勉

今期で2期目となり、再度地区長となりました。コロナ禍で活動が制限された前期に比べ徐々にではありますが、運動会など参加できることが多くなってきました。

これから2年間、地区会をより多く開催し、各委員相互の活力を高めることで、地域のコーディネーターとして新たなことにも挑戦したいと思います。また、前期一度も開催することができなかった三者懇談会を開催し、より多くの人々と親睦を深め、意見交換し、青少年委員として何ができるのか見つけていきたいと思っています。

いまだ新任の時と変わらない地区長ですが、委員の皆様よろしくお願いいたします。



「楽しんだもん勝ち？」

大島地区長 尾辻 美枝

ある小学生からの質問！「大人って楽しいの？」もちろん！楽しむのは自分次第！「どうして大人って間違っても謝らないの？」うんうん…どうしてだろう。一緒に考えたいね。こどもが求める答えかどうかはさておき、そういうこどもからの質問にも真剣に答えられる、そんな大人でありたい！

そのためには、青少年委員として学校子ども会、地区対行事などに積極的に参加し、一緒に楽しむ大人を見せることが、こどもたちの本音に近づく第一歩。

できない理由より、どうやればできるのか？に知恵を絞り、タプリー楽しむ大島地区の青少年委員6名を見せることでこどもたちの健全育成に寄与していきたい。



「がんばろう～砂町」

砂町地区長 小久保 栄一

この度砂町地区の長に選出されました、砂町小学校区選出3期目の小久保と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この砂町地区、今年度は会長をはじめ、たくさんの役員が選出されています。本当に頭が下がります。

その中で自分の役割としては、やはり良い潤滑油になれたらなと思っています。

委員1人1人が信頼しあい、みんな仲良く楽しく活動できたら幸いです。

砂町の良さを発揮し、がんばっていきましょう。

また今年は11月に川南小60周年、毛利小110周年があります。来年には深川小150周年、扇橋小120周年、東川小150周年と続き、このコロナ禍を乗り越って7人でお祝いにかがえることを全員が望んでいます。

7校の地域も下町情緒あふれ昔の習わしも今の世の中に活かし今後もこどもたちの健全育成に力を注いで行きます。

新任研修会改め 委員研修会 I・II

令和4年5月19日(木)、6月16日(木) 定例会後、例年どおりに研修部主催で委員研修会が行われました。

1回目「青少年委員会の概要について」

菅原青少年課長が、資料をもとにして青少年委員の制度について説明をしてくださいました。もともと社会教育行政の一環として始まりましたが、現在は学校・行政と地域を結ぶコーディネーターとしての大きな役割を担い、いよいよ令和5年度には70周年を迎えます。

また、具体的な役割や活動実績、設置に関する規則や選考に関する要領、さまざまな団体との連携についても詳しくお話をいただきました。

最後に、新役員・新任委員の自己紹介をして終了しました。
(江東区役所にて)



青少年委員制度について説明



スライドを見ながら真剣に研修

2回目「江東区青少年委員会の活動について」

まず和田会計より会計についての詳しい説明があり、続いて安井広報部長から、各専門部・実行委員会の具体的な活動状況などを分かりやすく説明がありました。

今期もコロナ禍により活動は流動的ですが、任期2年間は青少年健全育成のために積極的に活動しようと再確認し、充実した委員研修会でした。
(江東区文化センターにて)

青少年課職員紹介

「『和(わ)』を感じる雰囲気をつつまでも」

令和2年度まで4年間、白河地区で地域振興担当係長として町会関係や地域のイベント・事業のサポートをしていました。昨年度は、東日本大震災の原発事故により被災した福島県川俣町で応援職員として勤務し、避難区域が解除され住民が戻り始めた山木屋地区の住民支援にかかわる仕事をしていました。交流人口増につながるイベント関係や広報誌の発行などに携わっていました。

今年度から地域連携係長となり、青少年委員の皆さんとお仕事することとなり、皆さんの印象は、明るく活動的で、さらに各地区同士がつながりのある『和(わ)』を感じる雰囲気が好きになりました。『和(わ)』のある雰囲気をいつまでもつなげ、地域のため尽力されている皆さんが活動しやすい環境を、一緒になって作り上げていけるよう頑張ります。

「こども目線」

今年度、東京都に子供政策連携室が新設された。政策全般を『こども目線』で捉え直し、総合的に推進するためだ。どんな仕事をしているか調べてみると「こども記者募集」が目についた。目的は「チルドレンファーストの社会を実現することを目的とし～省略～こどもが記者として意見を発信し番組を企画、体験する様子を放送するドキュメンタリー番組を制作」とあり、活動内容には「著名人と取組内容や制作動画について意見交換を行い、共に発表会や講評を行う」とある。完成した番組が『大人目線』だったなんてことはないかと心配になった。江東区青少年委員会は、子供心を持った大人たちの集まりだと感じている。ここには常に『こども目線』がある。

課長から指摘を受けています!

ブイッ!

課長の的確なアドバイスのもとに…
青少年課、今年度も元気にがんばります!!

江東区地域振興部
青少年課地域連携係長 野瀬 亮

江東区地域振興部
青少年課長 菅原 広盛

コラッ

編集後記

新体制がスタートしました。発行にあたり、寄稿していただいた皆さまに感謝申し上げます。「いつも通り」、「当たり前」の大切さを痛感する時間を過ごし、今期を迎えたみなさんの想いや意気込みが伝わってきます。これからも、青少年委員の活動をお届けしていきますので、よろしくお願いいたします。
(K.Y)